

NY マーケットレポート (2018年6月28日)

2018年6月28日(木)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%	外国為替	終値	高値	安値
日経平均	22270.39	-1.38	-2.17%	USD/JPY	110.51	110.65	109.97
ハンセン指数	28497.32	+141.06	-4.75%	EUR/JPY	127.79	127.92	127.14
上海総合	2786.90	-26.28	-15.73%	GBP/JPY	144.50	144.68	143.78
韓国総合	2314.24	-27.79	-6.21%	AUD/JPY	81.22	81.30	80.69
豪ASX200	6215.39	+19.53	2.48%	NZD/JPY	74.63	75.09	74.41
インドSENSEX	35037.64	-179.47	2.88%	EUR/USD	1.1564	1.1601	1.1527

*アジア〜ニューヨーク

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%	コモディティ	終値	前日比	年初来%
英FT100	7615.63	-6.06	-0.94%	NY GOLD	1251.00	-5.10	-4.2%
仏CAC40	5275.64	-51.56	-0.69%	NY 原油	73.45	+0.69	21.4%
独DAX	12177.23	-171.38	-5.73%	COBTコーン	366.00	-7.25	-1.6%
スペインIBX35	9589.00	-69.60	-4.53%	CRB指数	198.89	-0.056	2.6%
イタリアFTSE MIB	21432.34	-125.57	-1.93%	ドル指数先物	95.312	+0.022	3.5%
南ア全株指数	55795.20	+425.94	-6.23%	VIX指数	16.85	-1.06	52.6%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%	Crypto Currency	本日	前日
米ダウ平均	24216.05	+98.46	-2.04%	CBOE Bitcoin(先物・期近)	6025	6175
S&P500	2716.31	+16.68	1.60%	CME Bitcoin(先物・期近)	6055	6160
NASDAQ	7503.68	+58.60	8.70%	Ripple (BSTP)	0.455	0.469
南北米主要株価	終値	前日比	年初来%	Ethereum (BSTP)	433.48	441.14
トロント総合	16179.89	-51.36	-0.18%	Bitcoin Cash	686.31	718.80
ボルサ指数	47031.27	+156.84	-4.71%			
ボベスパ指数	71766.52	+1157.52	-6.07%			

*USD 6:00時点

x一部寄定値

6/29 経済指標スケジュール

08:30	【日本】5月失業率・5月有効求人倍率
08:30	【日本】5月消費者物価指数[東京都区部]
08:50	【日本】5月鉱工業生産
13:17	【日本】4月自動車生産
14:00	【日本】5月住宅着工戸数・5月建設工事受注
14:00	【日本】6月消費者態度指数
15:00	【ドイツ】5月輸入物価指数
15:00	【ドイツ】5月小売売上高指数
15:45	【フランス】5月生産者物価指数・6月消費者物価指数
15:45	【フランス】5月消費者支出
16:00	【トルコ】5月貿易収支
16:00	【スイス】6月KOF先行指数
16:55	【ドイツ】6月失業率・6月失業者数
17:30	【英国】1Q GDP
17:30	【英国】1Q経常収支
17:30	【英国】4月サービス業指数
17:30	【英国】5月消費者信用残高
17:30	【英国】1Q総合事業投資
17:30	【英国】5月住宅ローン承認件数・5月住宅証券融資高
18:00	【欧州】消費者物価指数
21:00	【南アフリカ】5月財政収支・5月貿易収支
21:30	【米国】5月個人所得・5月個人支出
21:30	【米国】5月PCEデフレーター
21:30	【カナダ】4月GDP
21:30	【カナダ】5月鉱工業製品価格・5月原料価格指数
22:45	【米国】シ月カゴ購買部協会景気指数
23:00	【米国】6月ミシガン大学消費者信頼感指数

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.126%	-0.126%
5年債	-0.108%	-0.109%
10年債	0.036%	0.039%
30年債	0.712%	0.708%
欧州国債利回り		
ドイツ10年債	0.319%	0.321%
英国10年債	1.263%	1.245%
フランス10年債	0.710%	0.710%
米国債利回り		
2年債	2.510%	2.504%
3年債	2.594%	2.583%
5年債	2.714%	2.696%
7年債	2.795%	2.835%
10年債	2.836%	2.877%
30年債	2.966%	3.025%

6/29 主要会議・講演・その他予定

- ・メキシコ大統領選挙 (7月1日)

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された米 GDP、個人消費がいずれも改定値から下方修正されたことを受けて、ドル売り・円買いがやや優勢となった。その後、ナバロ NTC（国家通商会議）委員長とボスティック・アトランタ連銀総裁の発言を受けて、米 10 年債利回りが上昇するとドル買い・円売りが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ドル/円は一時 1 週間ぶりの高値を付けた。また、下落して始まった米主要株価が軒並みプラス圏に反発したことも円売りを後押しした。

主要な米経済指標結果

1Q GDP（前期比年率） 2.0%（予想 2.2%・前回 2.2%）

1Q 個人消費（前期比） 0.9%（予想 1.0%・前回 1.0%）

1-3 月期の米 GDP 確定値は、改定値から 0.2 ポイント下方修正され、前期（+2.9%）からの減速がはっきりした。また、GDP の約 7 割を占める個人消費は、改定値から 0.1 ポイント下方修正され引き下げられ、GDP を押し下げる要因となった。一方、企業の設備投資は改定値の+9.2%から+10.4%に上方修正された。輸出は+3.6%、住宅投資は-1.1%だった。そして、米 FRB が物価の目安とする個人消費支出（PCE）物価指数は、前年比+1.8%と改定値と同じだった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

新規失業保険申請件数 22.7 万件（予想 22.0 万件・前回 21.8 万件）

失業保険継続受給者数 170.5 万人（予想 171.8 万人・前回 172.3 万人⇒172.6 万人）

米失業保険申請件数は、前週比+0.9 万件となり、市場予想を上回った。申請件数の 4 週移動平均は、前週比 +0.1 万件の 22.2 万件。また、集計が 1 週遅れる失業保険継続受給者数は、前週比-2.1 万人の 170.5 万人となった。受給者数の 4 週移動平均は、前週比-3750 人の 171 万 9500 人となり、1973 年 12 月 8 日までの週以来の低水準となった。



出所：Bloomberg



出所：Bloomberg

6月カンザスシティ連銀製造業活動指数 28 (予想 26・前回 29)



出所：Bloomberg

要人発言

カシュカリ・ミネアポリス連銀総裁

- ・ 中立金利に達した後は利上げ見合わせが望ましい
- ・ 中立水準まで金利を上げていくのに反対せず

ボスティック・アトランタ連銀総裁

- ・ FOMC は米経済の過熱について懸念
- ・ 利回り曲線の形状を注視、逆イールド回避を望む
- ・ 利上げペースの減速を容認する
- ・ 貿易戦争が起こるのではないかと非常に強く懸念している
- ・ 実業界にはこの問題に関して強い懸念があり、これは誰もが脅威に感じており、幾つかの非常に深い懸念の声を聞いている

ブラード・セントルイス連銀総裁

- ・ 当面は金利の現状維持が望ましいと再表明
- ・ 逆イールドは金融当局にとって短期的な重要リスク
- ・ イールドカーブは景気後退の予兆として非常に頼りになる
- ・ 減税や連邦支出の拡大による景気刺激は一時的で、2019 年以降は効果が弱まると指摘
- ・ 財政政策の効果が尽きるまで見届けようという思いの方が強い

ローゼングレン・ボストン連銀総裁

- ・ われわれが経済を強く後押しし過ぎれば不均衡が生じると懸念する段階にある
- ・ 銀行は資本を構築すべき、現在ゼロのカウンターシクリカル・バッファは良い手段
- ・ ゼロにあるものを減らすことはできない、それを積み上げるのに適した時だろう

米主要株価は反発

米株式市場は、序盤に発表された米経済指標が市場予想を下回ったことが影響し、主要株価は序盤から上値の重い動きとなった。ただ、前日にトランプ米政権による外国資本の米企業への投資制限を巡る不透明感が嫌気されて大きく下落した反動もあり、その後はハイテク株や金融株を中心に買い戻しが優勢となった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比 120 ドル安まで下落した。その後は、プラス圏まで反発し、98 ドル高で終了した。



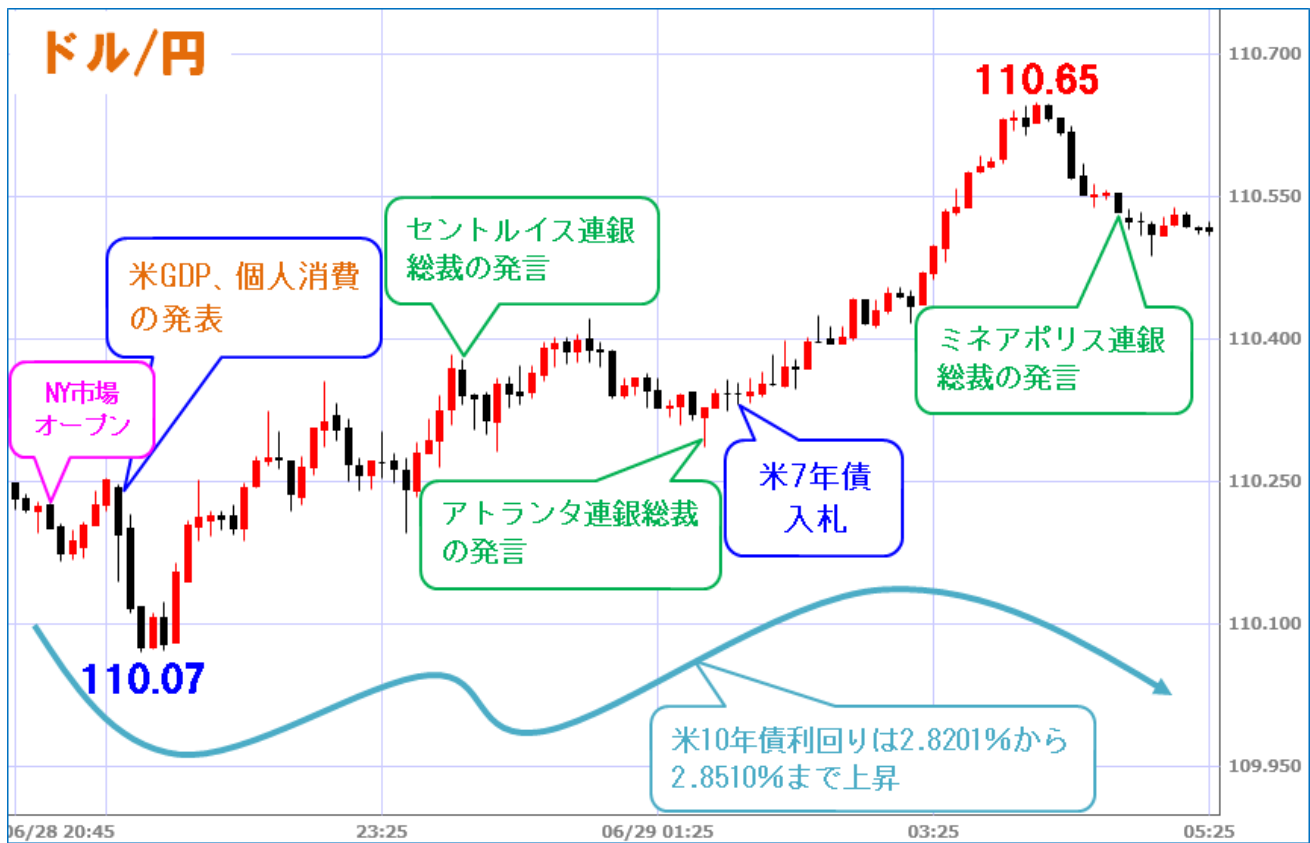
出所：Bloomberg

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	通信サービス	3.14%	1	ベライゾン	3.14%
2	テクノロジー	1.19%	2	IBM	1.86%
3	金融	1.15%	3	JPM	1.64%
4	資本財	0.96%	4	GS	1.47%
	消費者サービス	-1.26%		ウォルグリーンBA	-9.90%

出所：データを基に SBILM が作成

米金利上昇を受けてドル円・クロス円は堅調な動き

NY 市場では、序盤に発表された米 GDP、個人消費がいずれも改定値から下方修正されたことを受けて、ドル売り・円買いがやや優勢となった。その後、ナバロ NTC（国家通商会議）委員長が、トランプ大統領は自身が自由貿易主義者であるが、公正な競争の場を望むことを明言したことや、ボスティック・アトランタ連銀総裁企業が貿易摩擦を懸念している、利上げペースの減速に違和感がないと発言したことを受けて、米 10 年債利回りが上昇するとドル買い・円売りが強まり、ドル円・クロス円は堅調な動きとなった。ドル/円は一時 1 週間ぶりの高値を付けた。また、下落して始まった米主要株価が軒並みプラス圏に反発したことも円売りを後押しした。一方、英国が EU から強硬離脱するとの懸念が強まっており、EU 首脳会議では EU 当局者が英国の離脱に関して声を強めた。これを受けて、ユーロには逃避買いが入った。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。